

県中農林事務所からのお知らせ

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」今年も開催しています



当農業振興普及部では、新規就農者のフォローアップや研修会の開催など、農業担い手の確保・育成に向けた取組を重点的に行っています。今年度も、就農から5年以内の新規就農者を重点対象者と位置づけ、巡回等により栽培管理支援を行うとともに、農業に関する基礎的な知識や技術を習得する研修会「郡山農業塾」を開催しています。

第1回「郡山農業塾」(6月26日)では、「病虫害防除のポイントと農薬の使用」について学んでいただきました。第2回以降は以下のとおり予定しています。新たに農業を始めた方、農業を始めたい方など、多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細は当部までお問い合わせください。(電話：024-935-1321)

▶今後の研修会(予定)

	研修内容	対象者	開催日	場所
第2回	農業経営管理	新規就農者等	令和5年11月	郡山合同庁舎
第3回	労務管理	認定研修機関等	令和5年11月	郡山合同庁舎
第4回	栽培技術	新規就農者等	令和5年12月	郡山合同庁舎
第5回	営農計画作成	新規就農者等	令和6年1月	郡山合同庁舎
第6回	土づくり	新規就農者等	令和6年2月	郡山合同庁舎

職員紹介

今年度の農業振興普及部は、以下の27名で活動していきます。よろしくお願いいたします。

所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	専門
農業振興課	部長	半沢 伸治	地域農業推進課	課長	佐藤 美香	花き ■
	副部長	井出 忠行		主査(キャップ)	横田 和子	畜産 ■
	課長	鈴木 庄一		主査	横尾 達也	作物
	主任主査	雨宮 潤子		技師	梅津 輝	作物 ■
	主査	水野 善英 ■		技師	鈴木 宏海	畜産 ■
	主査	武藤 景子		技師	中嶋 康	畜産 ◇
	主査	橋本 周子 ■		専門員	荒井 義光	作物
	副主査	馬場 聡子	経営支援課	課長	大河内 栄	花き
	主事	五十嵐 航太 ■		主査(キャップ)	三好 博子	野菜特産 ■
	主事	山田 佳恵		主査	矢島 清行	野菜特産
専門員	積口 和司 ■	主査		齋藤 克彦	野菜特産 ■	
営農再開支援専門員	菅野 廣和	副主査		畑 有季	野菜特産 ■	
		技師		松岡 慶都	果樹 ◇	
		専門員	佐久間 光子	花き		
		専門員	増子 俊明	果樹		

■転任者 ◇新採用職員

農薬はラベルをよく見て適正に使用し、使ったらすぐに記帳しましょう。

リサイクル適正(♻)この印刷物は印刷用の紙にリサイクルできます。

A G R I C U L T U R A L M A G A Z I N E
郡山普及だより
Yes! 農!!
 No.72 2023.8
 発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
 住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
 TEL:024-935-1321 FAX:024-935-7030

関係機関が一丸となって 郡山地域のきゅうりの生産振興を推進しています! 郡山市園芸ギガ団地組合設立



意気込みを語る影山和雄組合長ら役員4名

本県では園芸主要品目の産出額1割アップを目指して新たな担い手の育成と技術継承が可能な生産拠点づくりに取り組んでおり、JAグループ福島においても「ふくしま園芸ギガ団地構想」を掲げ園芸産地振興を図っています。そうした中、令和5年4月19日、きゅうりを共に生産する「郡山市園芸ギガ団地組合」が郡山市で設立されました。

同組合は7名の新規就農者を含む14名の生産者で構成され、生産拠点づくりのための施設整備等への県の支援事業を活用しながら、構成員相互の技術研さん等を通じ3年後の販売額を現在から3千万円以上増加させる計画の実現を目指して活動を開始しました。

当農業振興普及部では、郡山市の主要品目であるきゅうりの揺るぎない産地基盤の形成を目指し、JA福島さくらや郡山市等とともに、昨年12月に「郡山地域きゅうり園芸振興プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトのスローガンは、令和4年のきゅうり販売金額の約2倍を目指す「郡山きゅうり5億円産地への挑戦!」です。

関係機関・団体としっかり連携し、1年でも早く目標を達成できるよう支援してまいります。

原油価格・物価高騰等に関する農林水産分野支援等情報等のお知らせ

県では、「原油価格・物価高騰等に関する農林水産分野支援等情報」を、ホームページ上で公開しております。

支援事業のうち「肥料価格高騰対策事業」(春肥:令和4年11月から令和5年5月注文分)の事業申請期間は、令和5年5月1日から令和5年8月31日となっております。

県中農林事務所農業振興普及部相談総合窓口 電話 024-935-1315

補助事業担当窓口 電話 024-935-1307



●県ホームページ: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/genyubukkajoho.html>

地域計画の策定や農地中間管理事業により、地域農業を守りましょう。

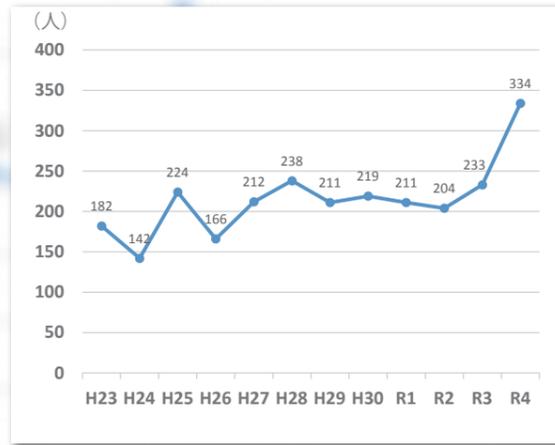
福島県農業経営・就農支援センターが開所しました

令和5年4月3日、福島県、JA福島中央会、福島県農業会議及び(公財)福島県農業振興公社の職員がワンフロアで常駐する総合相談窓口「福島県農業経営・就農支援センター」が福島県自治会館1階に開所しました。

同センターは、就農を希望する方、農業経営している方からの相談をワンストップで対応することができる「福島ならではの体制を整備しています。

県中農林事務所では、同センターとの情報共有・連携を図りながら、新規就農者等の確保・育成と定着、さらには経営発展に向けて、一層の支援に取り組んでまいります。

県内の新規就農者の推移



就農コーディネーターの紹介



新規就農者の一層の確保に向けて、(公財)福島県農業振興公社の駐在として各農林事務所に「就農コーディネーター」が配置されています。

県中農林事務所管内に、令和5年4月より、岩谷 樹雄いわや たつおさんが駐在しています。(電話：070-8801-4417)

4月から県中の方部を担当する岩谷です。関係機関等としっかり連携し、新規就農者の皆様の力になれるよう努めてまいります。

GAPの推進と推進員紹介

福島県では、補助事業による認証取得支援を継続しつつ、国際水準GAPガイドラインに準拠した新たなFGAP (FGAP2022) をスタートさせました。県内各地にGAP推進員を配置して、GAP認証を強力に推進しています。

推進員紹介>小澤 久康おざわ ひさやす (電話：080-8201-8294)



今年度よりGAP推進員として田村農業普及所に駐在し、JA福島さくら管内を担当いたします。よろしくお願いたします。

阿久津曲がりねぎ保存会、令和4年度豊かなむらづくり顕彰事業受賞



内堀知事と阿久津曲がりねぎ保存会のみなさん

阿久津曲がりねぎ保存会が、令和4年度豊かなむらづくり顕彰事業で表彰されました。

阿久津曲がりねぎは、郡山市のブランド認証産品に選ばれるとともに、農業生物資源ジーンバンクに在来種として登録され、さらには令和4年に地理的表示(GI)保護制度に県内2例目として登録されるなど、ブランド化を図っています。

保存会では、「やとい」の伝統的栽培技術を守り、「甘い」

「やわらかい」「風味が良い」といったねぎの高い品質を維持するとともに、消費者との交流や食農教育等の取組を通じて、地域の農業振興や活性化にも寄与しています。

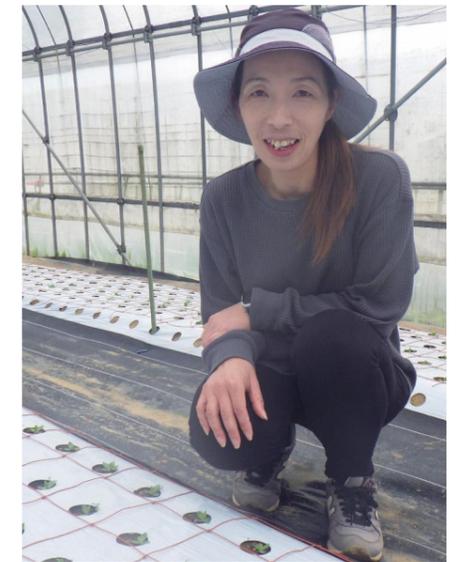
新指導農業士の紹介

トルコギキョウ生産に力を注ぐ なかの ちずこ 中野 千寿子 さん

中野千寿子さんは、郡山市日和田町で水稻のほか、ご両親が30年前に郡山市で先駆けて始めたトルコギキョウ栽培を行っています。

中野さんは、日々細やかな観察力でトルコギキョウの栽培管理を行うことにより、7月から11月まで長期間出荷し、東京市場等において高単価で取引されています。

今後は、県指導農業士として現地視察の受入れなど、後継者の育成にもご協力いただく予定です。



定植後のトルコギキョウの前で

「地域計画」の作成が始まりました

これまで、担い手不足や農地など地域の問題を解決するための「人・農地プラン」の作成を進めてきましたが、今年度から法律に基づく「地域計画」へと移行しました。

「地域計画」は市街化区域を除く全農地を対象に2年以内に作成する必要があります。郡山市では、計画内容を検討する協議の場が、4月21日の三穂田地区を皮きりに各地で開催されています。皆さんの地域で開催される際には、是非、参加をお願いします。